

「メイク！ Make！ 化粧！」

愛知県 神谷知世

私は化粧が嫌いだ。化粧をしている人も、化粧をすることも嫌いだ。なんであんな肌が悪そうなものを顔にベタベタしているのかわからない。特に若い子！肌も目もそのままですぐキレイなのに、黒やら赤やらベタベタ。しかも学校なんかにもしてくるから、体育の後はオバケが出現する。汗で化粧が落ちるのだ。高校二年生、そろそろ化粧の1つも覚える時期なんだろうが、私は化粧を断固拒否して生きていた。

しかしそんな私にも化粧をしなくてはならない日が訪れた。それは演劇の舞台。舞台にあがるとなると、かなりしっかり化粧をしなければならない。照明で顔が飛んでしまうからだ。本当は化粧なんてしたくない。でも大好きな演劇は裏切れない…。悩んでいるうちに、気づいたら部員に化粧をされていた。

驚いた。私の顔が、それはもうびっくりするくらい変わっていた。まわりにいたみんなもびっくりするほど褒めてくれた。おいおい、これはすごいじゃないか。たかが目の周りに線をひいただけなのに。まつげを伸ばしただけなのに！もう演劇どころではなかった。私の頭の中は「帰りに化粧品は買おう」これだけだった。

化粧品とマニュアル本として買った雑誌を見ながらひたすら化粧をする。ああ、楽しい。やればやるだけ顔が変わる。なるほど。みんなが化粧濃くなる理由がわかった。楽しいんだ！肌が荒れるとか、理屈じゃない。手軽に自分を変えられる。手軽だけど、究極のイメージチェンジなんだ！

化粧の楽しみを覚えた私だけど、学校にはしていかないことにした。だって、いつも「変わる」じゃ「変わる」にはならないから。素があるからこそ変われる。私はその変化を楽しみたい。時間がなくても、電車の中で化粧はしないことにした。マナーは守らなくちゃいけないし、何よりそんなところで化粧しても可愛くなれない気がするから。

楽しみたいならルールは守る！スポーツでも、なんでもそう。楽しいイメチェンライフのために、私は、ルールを守ります！